

意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【3班】

地 区 コ ミ	長浜地区コミュニティ協議会			参加人員	17人	
開 催 日 時	平成26年 5月30日（金） 19：00 ～ 20：20					
開 催 場 所	長浜地区コミュニティセンター					
出 席 議 員 （ 担 当 ）	議 員 名	出欠	担 当	議 員 名	出欠	担 当
	中島 由美子	○	代表挨拶	川添 公貴	○	
	橋口 博文	○		森満 晃	○	報告書作成
	森永 靖子	○				

意見交換の内容

（凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見）

1 地区コミュニティセンターへのアクセス道路の整備

《意見交換の概要》

- ◆ 現在、地区コミュニティセンターのある場所は、車の進入が困難なため、車で移動できるような道路の拡幅、橋梁の新設をお願いしたい。コミセン前のスロープを削って郵便局前を車が乗入れ、巡回できる道路を作ってほしい。
- ◇ 平成25年度から特定離島ふるさと推進事業（県補助金80%）で道路整備ができなくなり、社会資本整備総合交付金事業で対応することになるが、事業の必要性等の採択要件に十分な検討が必要となった。
- ◇ 地権者の同意、地域の協力が不可欠である。
- ◆ 道路の拡幅、橋梁の新設が難しいようであれば、地区コミュニティセンターの移転、新設でもよい。
- ◇ 道路の拡幅、橋梁の新設、コミセン前のスロープ等莫大な予算が想定される。
- ◇ 地区コミュニティセンターの移転、新設で地区の方々の総意がまとまれば、その方法もある。総合福祉施設として新設する方法もある。
- ◇ 地区コミュニティ協議会でしっかり協議したなかで、具体的な内容を明記した要望書を出していくことが必要。

2 県道手打～鹿島間の長浜地区内の未完成部分の早期着工及び海沿いへの駐車場の整備

《意見交換の概要》

- ◆ 県道については、地区内の道路拡幅工事が行われつつあるが、海沿いに駐車車両が多く、離合が難しい状態はかわらない。今後、観光客の増加も予想され、景観も悪い。未着工部分の早期着工と海沿いの空き地に駐車スペースを設けてほしい。
- ◇ 1のテーマと同様に、特定離島ふるさと推進事業で道路整備ができなくなり、市の単独事業となる。本土を含めた予算の整理、藺牟田瀬戸架橋の進捗状況もみていく必要がある。観光の島・甕島ということもあるので、観光客の動向等の推移を見守りながら観光整備事業としての検討も必要では。
- ◇ 観光客の定着、リピーターの増加等をするためには、地元の頑張りが一番。観光整備事業として早期に取り組める状況をつくっていく必要がある。
- ◆ 県に対して、海沿いの空き地に駐車スペースができないか、強く働きかけてほしい。
- ◇ 堤防の強度を保ちながら、遊歩道などの空間をつくるといった方法を提言していくことも必要では。

3 芦浜海岸線浸食による沖合への暗礁ブロックの設置

《意見交換の概要》

- ◆ 海岸線をいくら補強しても、沖合に暗礁ブロックがないため、砂が沖合に持っていかれて崩れるばかりである。手打地区の暗礁ブロックが効果を証明している。
- ◇ 海岸線の状況を確認したので、地区のご意見と一緒にしっかり県に提言していく。

《主な要望等》

- ◆ 台風など災害が起きるまえに早目に予防対策を講じてほしい。
- ◇ 現在、国土強靱化計画が実施されているので適用の対象となるよう働きかけをしていく。

4 その他

《要望等》

- ◆ 今年2月に下水道整備を実施していただくための要望書を提出した。必要な地権者の同意を90%以上取っているので市議会からも働きかけてほしい。
- ◇ 今度の常任委員会で集落排水事業としてできないか質問し、確認する。

- ◆ 地区内の公衆トイレは、緑地公園に1箇所しかない。タカエビの購入など漁協を利用する観光客の増加が今後も予想されるが、汲み取りの和式トイレで土日は利用できない。漁協周辺にも公衆トイレを早急に設置してほしい。
- ◇ 観光客を受け入れる側としては、最低限の施設であり甌島全体の観光整備事業として提言する。

- ◆ 芦浜霊園への道路の拡幅と舗装をお願いしたい。
- ◇ 道路が市道か里道か、支所の職員と連絡をとって確認してから検討する。